

2025年度(24期) 修了生からのメッセージ

「英語を通して思考を鍛える」

明石塾は単に英語力を伸ばす場ではありません。英語を“使いながら”、世界の課題や社会の在り方を考える場所です。講義やディスカッションを通して、物事を多角的に捉える力が養われました。自分の考えの浅さに気づくこともありましたが、それこそが思考を深める契機でした。英語は目的ではなく、世界と向き合うための手段であることを実感しました。世界の見方が変わる経験でした。

「環境が人を鍛える」

異なる学校から集まった仲間との議論は、刺激的であり、時に厳しいものでした。自分とは異なる価値観や視点に触れることで、自分の立ち位置を問い直す時間が増えました。人との出会いが、自分を磨く。明石塾はそのような環境でした。互いに高め合う空気の中で、思考の深さと表現力が鍛えられたと感じています。

「高校生である今、挑む意義」

高校生の段階で、ここまで本格的な学びに触られる機会は多くありません。価値観が揺さぶられ、葛藤する場面もありました。しかし、その揺らぎこそが成長の証だと今は思います。明石塾は『考える力』と『世界を見る視野』を広げる場です。本気で自分を高めたい人にこそ勧めたいと感じています。

「世界は実在している」

社会人講義を通して、世界は教科書の中での存在ではなく、確かに“実在している”と感じました。JICA職員の方や青年海外協力隊の事例から、国際協力の現場の具体性を学びました。「think globally, act locally」という言葉が印象に残っています。支援とは上から与えるものではなく、隣に立ち、ともに考える姿勢であることを知りました。この経験は、自分の将来を真剣に考えるきっかけにもなりました。

「当たり前が崩れる瞬間」

フィールドワークでは、自分の“当たり前”が崩れました。東京ジャーミイでイスラム文化に触れ、JICAで世界の課題を学ぶ中で、これまで抱いていた先入観やステレオタイプに気づかされました。実際に足を運び、自分の目で見ることの重みを知りました。グループディスカッションでは、自分の意見を論理的に伝え、他者の意見を尊重する姿勢を学びました。

「葛藤を含めた成長」

東南アジア海外研修を通して、「世界は広い」という言葉を実感しました。現地での交流は、自分の視野の限界と未熟さを気づかせてくれました。しかし、この研修は“行って終わり”ではありません。事前の学びと帰国後の振り返りがあってこそ、経験は思考へと深まります。明石塾は、『どう生きるか』を考える場でした。この7か月を礎に、これからも主体的に学び続けたいと思います。



明石塾

(後援 群馬県教育委員会)

2026年度 塾生募集



明石塾は2002年度(平成14年度)に1期生を迎えて以来、

2025年度(24期)までに385名の修了生を輩出し、
国内外で幅広く活躍しています。

群馬県立女子大学 外国語教育研究所

〒370-1193 群馬県佐波郡玉村町上之手1395-1

TEL. (0270)65-8511

2026年度（25期）『明石塾』 塾生募集要項

<開塾の精神>

国際的な視野と国際舞台で堂々と発言し行動できる力を備え、高い志と行動力に富んだ人材を将来にわたって輩出することを目的とする。

<概要>

- ◆塾長 塩澤寛樹（群馬県立女子大学長（外国語教育研究所長））
- ◆主催等（主催）群馬県立女子大学外国語教育研究所（後援）群馬県教育委員会
- ◆実施内容 「明石塾」では、国際情勢、日本の現状や多文化理解に関する講義や英語研修、体験型研修等を行う。グローバル社会の最前線で活躍する社会人講師や県立女子大学教授等による講義とともに、ネイティブスピーカーによる充実した英語研修を実施する。また、海外研修やフィールドワーク、塾生との討論などを通して、発言力や行動力を身につけ、国際的な視野を養う。県立女子大学の学生が塾生の研修をサポートする。
- ◆年間予定 7月25日(土) 入塾式及びオリエンテーション
8月～2月 研修（夏季休業中は平日、それ以外は土曜日に、計18回を予定）
〔大学教授による講義、英語研修、社会人講義、テーマ討論、
県内・東京フィールドワーク、大学で実施の講演会などを受講〕
12月下旬(予定) 東南アジア方面海外研修（任意参加。状況により、変更または中止となる場合があります。）
※研修が授業等と重なる場合、学校に公休扱いを依頼します。
2月6日(土) 研修成果発表会及び修了式
※研修への取組状況（出席状況、受講態度、提出物等）が良好と認められた塾生に、修了証を交付します。
- ◆研修場所 群馬県立女子大学 他
- ◆参加負担金 年間受講料 8,000円（いかなる場合でも返金はいたしません。）
海外研修参加費用40万円程度（任意参加。状況により費用は変更となる場合があります。）

<塾生応募資格・応募方法・選考>

- ◆募集人数 20名程度
- ◆応募資格 群馬県内の高等学校（中等教育学校後期課程、高等専門学校を含む）に在籍する生徒又は群馬県外の高等学校に在籍する県内在住の生徒で、原則として海外研修以外のすべての日程に参加可能な生徒
- ◆応募方法 ①右記二次元コードを読み取り、応募フォームに必要事項を入力の上送信してください。
(応募期間 5月1日(金)10時～6月3日(水)16時)
※応募フォームは、大学ウェブサイト「明石塾」のページからもアクセスできます。
②同意書を大学ウェブサイト「明石塾」のページからダウンロード、必要事項を入力後、プリントアウトしてください。本人および保護者が署名し、校長印を押印したものを、6月27日(土)の選考試験日に提出してください。
- ◆選考 6月27日(土)
※筆記試験（日本語）と面接（英語及び日本語）を予定。詳細は、大学ウェブサイト「明石塾」のページに掲載してお知らせします。



応募フォーム



大学ウェブサイト「明石塾」のページ

<お問い合わせ>

〒370-1193 群馬県佐波郡玉村町上之手1395-1
群馬県立女子大学 外国語教育研究所 TEL 0270-65-8511(代表)
E-mail : flri-one@mail.gpwu.ac.jp

<塩澤塾長からのメッセージ>

～ 2025年度修了式塾長式辞より抜粋～

皆さんは「思考力」という言葉を何度も耳にしているでしょう。では、その源は何でしょうか。

一つは知識です。知識がなければ思考は働きません。日々の学習や暗記は、思考力の大切な土台です。そしてもう一つは、「これでいいのか」「このまま進んだらどうなるのか」と問い続ける姿勢です。すぐに答えを求めるのではなく、自分の頭で考える。その積み重ねが本当の思考力を育てます。AIが発達する時代だからこそ、主体的に考え、自ら判断できる力が必要です。これからの社会は皆さんの世代に託されます。



塩澤寛樹塾長略歴

群馬県立女子大学長（外国語教育研究所長）
慶應義塾大学文学部哲学科卒業（博士（美学））。平成26年、群馬県立女子大学教授、令和5年10月、学長に就任。専門分野は日本美術史、日本彫刻史。研究テーマは、中世、特に鎌倉時代の仏教彫刻史及び肖像彫刻史の研究。NHK2022年大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の仏教美術考証をつとめる。著書に『大仏師運慶 工房と発願主そして「写実」とは』（講談社、2020年）など多数。

<明石康 名誉塾長>

～「明石康名誉塾長御講義」からの抜粋～

皆さんの人生には色々なことがあると思います。友を失うこと、人の信頼を失うといったこともあるかもしれませんが、しかし、そのために自分の立場を変えてしまうことがあってはいけません。良いと思ったことをやり通すという「決意」が重要なのです。

